

みんなで遊べる公園をめざして

# 日野中央公園ワークショップだより Vol.1

令和5年1月 日野市緑と清流課



## 公園整備のきっかけ

ユニバーサルデザインのまちづくりを進めて行くにあたって、性別、国籍、障害の有無などに関わらず誰もが遊べる公園が求められています。これを受け「第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画」の中で、日野中央公園へのインクルーシブ遊具の整備とバリアフリー化を進めて行くことを決め、整備工事に取り組んでいくことになりました。

## ワークショップ開催の目的

整備をするにあたって、どんな人でも使いやすい公園づくりのため、いろいろな方のご意見を伺いながら公園の整備内容を考えていくために「だれもが遊べる児童遊具ワークショップ」を開催しています。

今までに3回のワークショップを行い、日野中央公園の整備内容が決定しましたのでお知らせします。

## ワークショップ参加団体

日野市立小中学校 PTA 協議会  
公立保育園園長会  
民間保育園園長会  
民間幼稚園園長会  
東京都立七生特別支援学校

東京都七生福祉園  
東京都立八王子東特別支援学校  
発達・教育支援センター エール  
ぞうさんの会  
計9団体

日野市  
緑と清流課  
都市計画課

## 主な整備内容 日野中央公園



### ①芝生広場

- ・チェアタイプ・円盤タイプのブランコを設置します。
  - ・幅広のすべり台付きの複合遊具を設置します。
  - ・遊具のまわりはゴムチップ舗装にします。
- インクルーシブ遊具
- ・園路から遊具までスロープを新設するので、車いすやベビーカーの方なども遊具に近寄ることができます。
  - ・遊具のまわりに屋根付きのベンチや、幅広タイプのベンチを設置します。

### ②遊具広場

- ・ベンチを新しいものに交換します。
- ・水飲み器をユニバーサルデザインタイプのものに交換します。

### ③園路

- ・凸凹している箇所の段差の解消をします。
- ・通路の排水ますの蓋を細かい網目のものに交換します。
- ・園路に接しているベンチのまわりの段差をなくして、幅広タイプのベンチを設置します。

### ④出入口

- ・点字ブロックを設置します。
- ・車止めの幅が狭いところは、車いすやベビーカーが通れるぐらいの幅に改修します。
- ・側溝の蓋を粗い網目のものから細かい網目のものに交換します。

## 今までのワークショップの開催結果

### 1 回目…参加者:6 団体 12 名

全員で日野中央公園内を歩いて、公園のいいところ・悪いところ・公園でできたらいいことなどの意見をリストアップしました。



### 2 回目…参加者:5 団体 7 名

1 回目のワークショップの意見をもとに、緑と清流課で公園の整備案を作りました。作った整備案をよりよいものにするために、意見交換をしました。

1 回目で出た主な意見	2 回目のワークショップで決まったこと
・園路が凸凹してる場所がある。	→ 凸凹している園路の補修。
・園路の排水柵蓋の穴にベビーカーなどの車輪がはまってしまう。	→ コンクリートの蓋から、細かい網目の蓋へ交換します。
・みんなで一緒に遊ぶ遊具を通して、出会い・知る場になって欲しい。	→ インクルーシブ遊具の説明看板を設置します。
・ブランコの数、タイプを増やしてもらいたい。	→ もともとある普通のタイプのブランコに加えて、寝たままや数人で乗ることのできる円盤タイプ、小さい子どもや、身体を支えることが難しい子どもも乗ることのできるチェアタイプのブランコを新設します。
・砂遊びができる遊具やさわって遊べるもの、車いすごとアクセスできる遊具や大型の複合遊具が欲しい。	→ スペースの問題から、車いすで上までアクセスできる複合遊具の設置は日野中央公園では難しいです。さわって遊べる遊具として、パネル遊具を設置します。
・広いベンチが欲しい。	→ 縁台タイプの正方形のベンチを 4 か所設置します。
・見本園の通路の幅が狭い。	→ 樹木の移植も必要になるので、すべて広げるのは難しいですが、すれ違いができるように一部分だけ広い場所を作るなど今後考えていきます。
・遊具の近くにトイレがあるといい。	→ 今回の工事にはトイレの改修工事は含んでいませんが、今後は改修が必要であると考えています。今後の改修の際に場所の変更も含めて考えていきます。

### 3 回目…参加者:5 団体 8 名

1 回目・2 回目の意見を反映させた整備案が完成しました。

主な整備内容は左のページのとおりです。

この整備案を元に日野中央公園の整備工事を進めていきます。

公園整備ワークショップについて  
日野市 HP でも紹介しています。

1 回目



2 回目



3 回目



## 整備内容の紹介

### 〈インクルーシブ遊具〉



#### ブランコ(イメージ)

チェアタイプ 1つ (左 写真)

小さな子ども向け。

円盤タイプ 1つ (右 イラスト)

寝たまま・何人かで乗れる。寝たまま乗ることができるので、自分で身体を支えられない子にも。

#### 複合遊具(イメージ)

- ・一緒に滑れる幅広のすべり台。身体を支えながら一緒に滑れます。
- ・登らなくても遊べるパネル
- ・ちょっとしたアスレチックがひとつになった遊具です。



#### バリアフリータイプ水飲み器

ひねりやすいレバータイプ

車いすでも使えるように水飲みの下にスペースがあります。

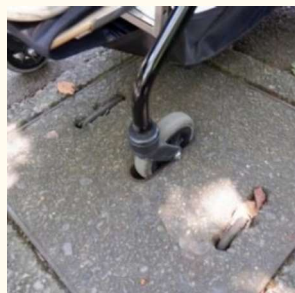
#### 縁台タイプのベンチ

荷物を置いたり、グループで座ったりいろいろな使い方ができると思います。

#### 屋根付きベンチ

日差しや雨の日に。

縁台タイプのベンチが付いています。



#### 排水ますの蓋

排水のための穴がベビーカーなどのタイヤがはまってしまう大きさだったので、細かい網目タイプの蓋に交換します。

## ワークショップのスケジュール

令和4年 8月	9月	10月	11月	12月	令和5年 1月	2月	3月	4月
1回目	2回目	3回目	← 工事契約 手続き →		← 整備工事 4回目(予定) →		← 工事後の検証 5回目(予定) →	